

学内グラント 報告書

平成25年度 学内グラント終了後報告書

神経変性疾患モデルマウスを用いた新規行動解析法の構築と 認知機能改善薬の探索

研究代表者 鈴木 正彦（保健医療学部 健康医療科学科）

研究分担者 柳下 聡介^{*}，吉川 圭介^{*}，淡路 健雄^{*}

研究成果リスト

学会発表

- 1) 柳下聡介, 鈴木星也, 淡路健雄, 平澤 明, 鈴木正彦, 丸山 敬. リン酸化タウが増加する新規モデルマウスの作製及びその解析, 第131回日本薬理学会関東部会, 平成26年10月, 横浜
- 2) Yagishita S, Suzuki S, Awaji T, Yoshikawa K, Suzuki M, Hirasawa A, Maruyama K. Establishment of a non-transgenic mouse model of neurodegenerative diseases with accelerated phosphorylation of endogenous tau,

第12回RCGMフロンティア国際シンポジウム, 平成26年10月, 埼玉医科大学日高キャンパス

- 3) 柳下聡介, 鈴木星也, 鈴木正彦, 丸山 敬, 平澤 明, 淡路健雄. 内在性タウのリン酸化亢進モデルマウスはアルツハイマー病様の表現型を呈する, 第88回日本薬理学会年会, 平成27年3月, 名古屋

受賞

- 1) 若手優秀発表賞, 第131回日本薬理学会関東部会, 平成26年10月

*医学部 薬理学

多発性骨髄腫に対する次世代シーケンサーを用いた 遺伝子発現解析及び新規治療薬の開発

研究代表者 佐川 森彦（総合医療センター 血液内科）

研究分担者 木崎 昌弘^{*}，得平 道英^{*}，多林 孝之^{*}，
阿南 朋恵^{*}，富川 武樹^{*}

研究成果リスト

論文

- 1) Sagawa M, Tabayashi T, Kimura Y, Tomikawa T, Nemoto T, Watanabe R, Tokuhira M, Ri M, Hashimoto Y, Iida S, Kizaki M. TM-233, a novel analog of ACA, induces cell death in myeloma cells by inhibiting both

JAK/STAT and proteasome activities. Cancer Sci 2015 Apr;106(4):438-46. doi: 10.1111/cas.12616.

- 2) Sadahira K, Sagawa M, Nakazato T, Uchida H, Ikeda Y, Okamoto S, Nakajima H, Kizaki M. Gossypol induces apoptosis in multiple myeloma cells by inhibition of interleukin-6 signaling and Bcl-2/Mcl-1 pathway. Int J Oncol 2014 Dec;45(6):2278-86.

*総合医療センター 血液内科